

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2001-269184(P2001-269184A)

【公開日】平成13年10月2日(2001.10.2)

【出願番号】特願2000-192401(P2000-192401)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/32	(2006.01)
C 0 7 K	16/40	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	9/02	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/43	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 R	1/91	(2006.01)
C 1 2 R	1/19	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	45/00	1 0 1
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	16/32	
C 0 7 K	16/40	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	9/02	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 P	21/08	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	37/48	

C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 R	1:91	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 R	1:19	
C 1 2 N	9/02	
C 1 2 R	1:91	
C 1 2 P	21/02	
C 1 2 R	1:91	
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 R	1:91	

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月19日(2007.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号：1で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質またはその塩。

【請求項2】請求項1記載のタンパク質の部分ペプチドまたはその塩。

【請求項3】請求項1記載のタンパク質または請求項2記載の部分ペプチドをコードする塩基配列を有するDNAを含有するDNA。

【請求項4】配列番号：2で表される塩基配列を有する請求項3記載のDNA。

【請求項5】配列番号：12で表される塩基配列を有する請求項3記載のDNA。

【請求項6】請求項3記載のDNAを含有する組換えベクター。

【請求項7】請求項6記載の組換えベクターで形質転換された形質転換体。

【請求項8】請求項7記載の形質転換体を培養し、請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩を生成、蓄積せしめ、これを採取することを特徴とする請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩の製造方法。

【請求項9】請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩を含有してなる医薬。

【請求項10】以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩を含有してなる医薬：

(a)配列番号：1で表されるアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；

(b)配列番号：1で表されるアミノ酸配列に対して90%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；および

(c)配列番号：1で表されるアミノ酸配列中、1～5個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、付加したアミノ酸配列、置換されたアミノ酸配列またはそれらを組み合わせたアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項11】癌の予防治療剤である請求項9または10記載の医薬。

【請求項12】請求項3記載のDNAを含有してなる医薬。

【請求項13】以下の(a)～(c)からなる群から選択されるDNAを含有してなる医薬：

(a)配列番号：1で表されるアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；

活性を有するタンパク質をコードするDNA；

(b) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列に対して90%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA；および

(c) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列中、1～5個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、付加したアミノ酸配列、置換されたアミノ酸配列またはそれらを組み合わせたアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA。

【請求項14】癌の予防治療剤である請求項13記載の医薬。

【請求項15】請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩に対する抗体。

【請求項16】請求項15記載の抗体を含有する診断剤。

【請求項17】請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩を用いることを特徴とする請求項1記載のタンパク質またはその塩の酵素活性を阻害または活性化する化合物またはその塩のスクリーニング方法。

【請求項18】以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩を用いることを特徴とする、以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩の酵素活性を阻害または活性化する化合物またはその塩のスクリーニング方法：

(a) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；

(b) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列に対して90%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；および

(c) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列中、1～5個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、付加したアミノ酸配列、置換されたアミノ酸配列またはそれらを組み合わせたアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項19】請求項1記載のタンパク質もしくはその塩または請求項2記載の部分ペプチドもしくはその塩を含有する、請求項1記載のタンパク質またはその塩の酵素活性を阻害または活性化する化合物またはその塩のスクリーニング用キット。

【請求項20】以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩を含有する、以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩の酵素活性を阻害または活性化する化合物またはその塩のスクリーニング用キット：

(a) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；

(b) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列に対して90%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；および

(c) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列中、1～5個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、付加したアミノ酸配列、置換されたアミノ酸配列またはそれらを組み合わせたアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項21】以下の(a)～(c)からなる群から選択されるタンパク質またはその塩をリボヌクレオチドレダクターゼとして使用する方法：

(a) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；

(b) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列に対して90%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質；および

(c) 配列番号：1で表されるアミノ酸配列中、1～5個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列、付加したアミノ酸配列、置換されたアミノ酸配列またはそれらを組み合わせたアミノ酸配列を含有し、かつリボヌクレオチドレダクターゼ活性を有するタンパク質。